

防災ナビ！

日本の地震

2011年3月11日、東日本大震災から3年が過ぎました。東北地方は甚大な被害を被り、現在でも避難所生活を送っている方もあります。政府の調査会によると、2010年1月1日から30年以内で60~70%、50年以内で90%以上の確率でマグニチュード8.7の地震（東日本大震災はM9）が発生するそうです。つまり、いつ自分たちが被災者になってもおかしくない状態に日本はあります。



区の防災対策

どこが避難所？

★足立区防災ナビ

スマートフォン用の防災アプリ「足立区防災ナビ」が配信されています。

《主な機能》

- ・足立区防災マップ
- ・足立区防災ガイド
- ・防災・防犯ふえ
- ・防災・防犯懐中電灯
- ・足立区公式Twitter
- ・足立区ライブカメラ 等
防災に備えた様々な機能が使えます！

★ハザードマップ

災害の発生地点や被害を予測し、その範囲を地図にしたものです。避難経路や避難場所の情報も示されています。「足立区防災ナビ」ではあだち防災マップやハザードマップを見ることができます！

★一時集合場所の選定

災害が発生した際に、集団で避難するために一時的に集まる場所です。町会・自治体単位で、公園・学校などが選定されています。区ホームページにて、お住まいの地域の一時集合場所を

足立区中央本町の避難場所です。ご確認ください。

★一時避難場所

- ・五反野住宅西側駐車場
- ・中央本町三丁目第二児童遊園
- ・中央本町三丁目児童遊園

★避難場所

大地震などで延焼火災が発生した場合、身を守るために避難する場所です

- ・都立足立高校一帯

★第一次避難場所

自宅が倒壊・焼失等で生活が出来ない場合の生活場所になります。

- ・弥生小学校
- ・栗島小学校

★第二次避難場所

第一次避難所での生活が難しい災害時要援護者の方々のための場所です。

- ・中央本町地域学習センター
- ・特別養護老人ホーム中央本町杉の子園

ひとりひとりにできることって？

東日本大震災からいつ地震が起きてもおかしくない状態が続いています。そんな時こそ備えあれば憂いなしです。以下は一例ですが、今すぐできることからやっていきましょう。

- 家族との集合場所、連絡方法を確認
→連絡が取れなくなった場合を想定して家族会議しましょう
- 備蓄品、非常持出品の準備
→食糧や飲料水は最低3日間分以上！！
玄関や寝室など持ち出しやすいところへ。
- 家具の配置
→家具の転倒防止、出入口の確保

中央本町センターの取組み

★避難訓練

中央本町センターでは毎年2回避難訓練を行っています。地域学習センター、体育館、図書館、住区センターの利用者の方にご協力いただいています。3月の避難訓練では約60人の方にご参加いただき、避難経路に伴う非常口の確認や災害時における施設設備の案内とともに水消火器による消火体験を行いました。



これにより、センター利用時に災害が起った時、少しでも落ち着いて対応できるようにと思っております。また、地域の皆さんに対しても災害時に中央本町センターがどんな役割があるのかを知りたいと思います。

★足立消防署で消防官体験

小学生向けに足立消防署での消防官体験の講座を開催して消防車を間近で見たり、消防士の訓練を見学しています。

子どもたちに消防署の存在を身近に感じてもらい、いざという時に119番ができる気持ちをもってもらいます。

